

「紙巻きたばこ」より害が少なそう

煙やにおいが少ない

『加熱式たばこ』なら安心？



○ 加熱式たばことは？

加熱式たばこは、専用の道具を使って、たばこの葉やその加工品を電気で加熱し、発生する煙(エアロゾル)を喫煙するものです。喫煙者の 30%以上が使用しています。中でも若い世代で加熱式たばこを使用する人が増加しています。



○ 加熱式たばこの健康への影響

有害物質の量は紙巻きたばここと大差なし

受動喫煙のリスクを下げない

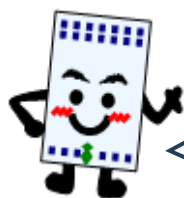
様々な有害物質が検出されています。紙巻きたばこよりも本人や周囲への害が少ないかのように宣伝されていますが医学的な根拠はありません。煙は見えなくても有害物質は空中に漂っており、受動喫煙のリスクがあります。

加熱式たばこでは禁煙できない

紙巻きたばこと同程度のニコチンが含まれています。加熱式たばこの使用が禁煙につながるとは言えません。

妊婦と赤ちゃん・子どもへの害

妊婦が加熱式たばこ使用者の場合、妊娠高血圧症候群は約 2.5 倍、低出生体重児は 2.4 倍と報告されています。また、生まれてくる子どものアレルギーは約2倍に増加します。



5月31日は世界禁煙デー
禁煙に関する情報はこちら👉



長野市保健所健康課
電話 226-9961
FAX 226-9982